

屋島山上拠点施設 基本設計（概要）

<完成イメージ図>



（施設西上空からの鳥瞰図）

平成29年3月

創造都市推進局文化・観光・スポーツ部

観光交流課

1 施設コンセプト

本市では、瀬戸内海国立公園並びに史跡及び天然記念物に指定されるなど、自然や景観、歴史文化等の魅力に満ちた屋島を、市民の誇れるシンボルとして再生させることを目的として、その特性や価値の保存と地域資源としての有効活用を図るために必要な基本方針や具体的方策について取りまとめた「屋島活性化基本構想」を平成25年1月に策定しました。

この「屋島活性化基本構想」に掲げる44の具体的施策・事業のうちの一つとして、屋島の魅力や源平合戦、屋嶋城等のガイダンス設備を備えるとともに、自然とのふれあい活動の場としても活用することにより、屋島を学び、魅力の再発見に資するため、観光的な側面と文化的な側面を合わせ持つ屋島の情報発信拠点として「ビジターセンター〔ガイダンス施設〕の整備」に取り組むこととしています。

このことを踏まえ、屋島山上拠点施設は、多くの来訪者が立ち寄り、眺望の優れた場所にあつて、人々が集まり、くつろぎ、自然や歴史、観光など、屋島の魅力を余すところなく知ることのできる、来訪者のための文化観光屋島の拠点と位置付けて整備することとします。

～整備に当たっての基本方針（屋島山上拠点施設基本構想より）～

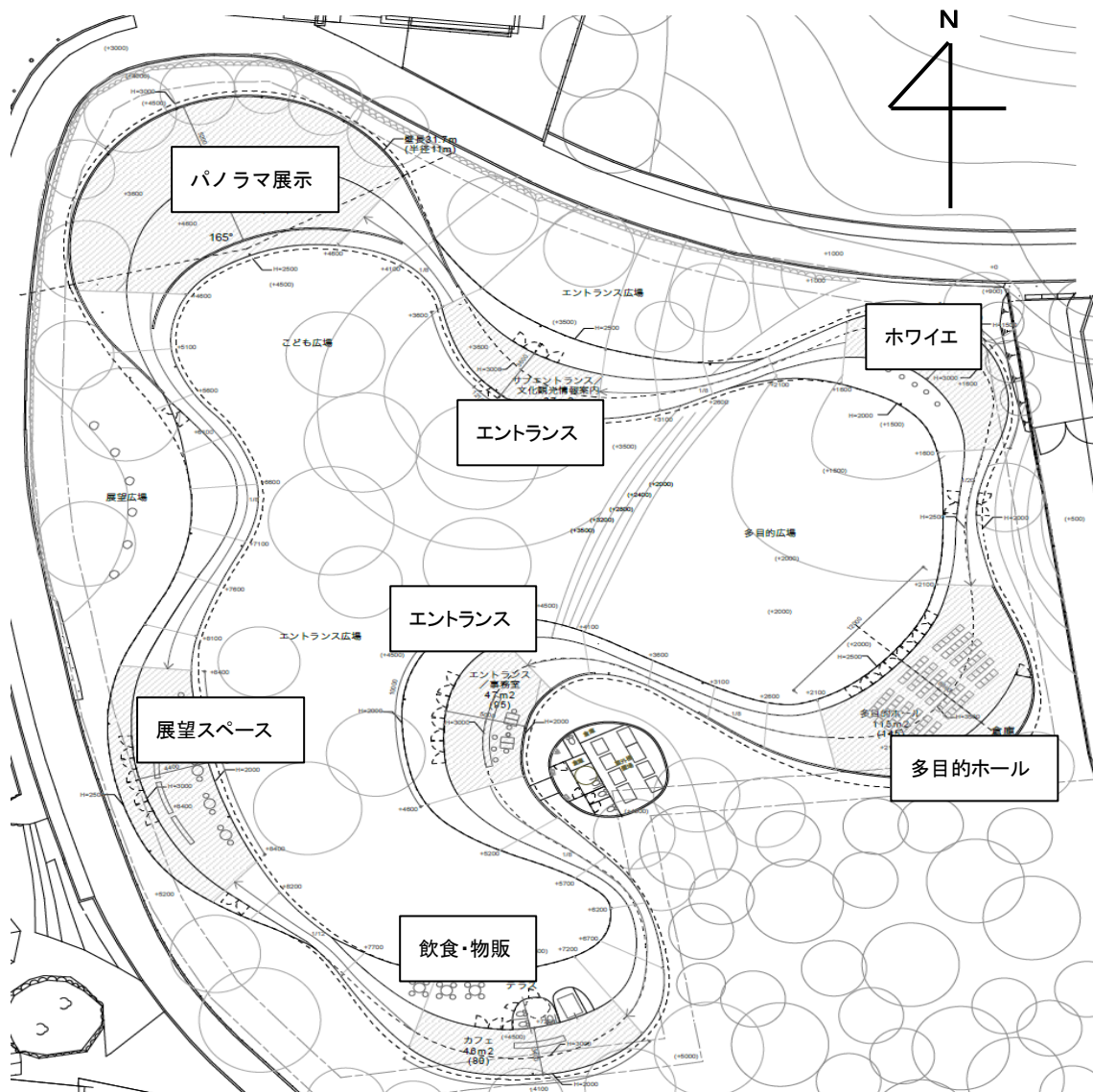
- 1 全ての来訪者に開かれた施設であること
- 2 子どもたちの学習等にも活用できる、屋島の特性や価値、楽しみ方を学び、知ることのできる施設であること
- 3 来訪者が休息し、くつろぎ、癒される空間を有する施設であること
- 4 山上からの眺望を満喫できる施設であること
- 5 屋島の魅力を再発見し、共有するための交流や活動の拠点となる施設であること
- 6 山上の景観等に調和しつつ、建築物としての魅力を持った施設であること

2 敷地概要



所在地	高松市屋島東町 1784-6 " 1784-13
敷地面積	3389.75㎡
地域・地区	特定用途制限地域 一般環境保全型（森林部）
その他	瀬戸内海国立公園 史跡・天然記念物

3 施設概要



構造	鉄骨造、一部木造
延べ床面積	1,075 ^{m²}
建築面積	921 ^{m²}
敷地面積	3389.75 ^{m²}
建蔽率	27.1%

4 デザインコンセプト

(1) 計画全体

建築物自体を作るのではなく、屋外の広場を含めた敷地全体を一つの「建築」とするもので、湾曲した形の建築物によって屋内空間と屋外空間、そして周辺環境を統合する計画としています。

(2) 形状の作り方

現状の高低差のある地形を生かした建物形状としており、また、川の流れをイメージし、敷地周辺の地形とも呼応しながら作られています。

(3) 周辺環境との関係について

建物を一つの大きな塊にせず、細く長く敷地全体に広げ、周辺の自然環境や人間スケールに近くなるまでスケールダウンすることで、自然との調和や来訪者の親しみやすさを創出しています。

(4) 素材について

施設内にいながら、山上の自然との一体感を感じられるようにするため、深い庇を持つテラスを設けています。また、施設そのものが山上の景観を損なわず、周辺の自然環境に溶け込んだ外観にするため、ガラス面を広くとっています。

(5) 空間体験について

建物に上下左右のカーブを連続的に設けることによって、来訪者の視座が、移動に伴って多様に変化し、時間や季節の変化と併せて、常に新鮮で印象的な空間体験が可能となるようにしています。

(6) 学習体験について

施設を一巡することで、屋島の自然、歴史、文化、山上エリアの情報などを体系的に体験しながら学習できるような形状として回廊型を採用しています。

5 配置計画

(1) 全体の配置計画

屋島山上拠点施設基本構想では、施設の持つ機能として、

- ①屋島の文化財や自然環境などの特性や価値が学べること
- ②屋島山上及び牟礼・庵治地区を含む屋島地域、さらには本市における文化観光情報が得られること
- ③施設の内外で、誰もが気軽にくつろぎ、瀬戸内海や市街地の景観を楽しむことができること
- ④研修や交流イベント開催などの多目的利用ができること

などが掲げられており、上記内容に加え、ユニバーサルデザインにも配慮した、誰に

でも安全で使いやすい施設計画としています。

(2) 文化観光情報案内スペース (ホワイエ)

施設北東部に展開する、全体の配置計画の①及び②に該当するスペースで、主に屋島を学習できる展示を行う予定です。



【完成イメージ図】

(3) 展望スペース、物販飲食スペース

施設南西部に展開する、全体の配置計画の③に該当するスペースで、主に屋島山上からのすばらしい眺望を楽しむことができます。

【完成イメージ図】



(4) 多目的ホール

施設東部に展開する、全体の配置計画の④に該当するスペースで、学習スペースやMICEスペースとして利用できます。



【完成イメージ図】

(5) パノラマ展示

施設北西部に展開する、全体の配置計画の①に該当するスペースで、海での源平合戦をモチーフとしたパノラマ展示を行います。壁面全体に細密画を描き、その前にジオラマを設置して視覚的に展示物に没入できるようなしかけとします。

【イメージ (ポーランドラツワヴィツェのパノラマ館)】



細密画

ジオラマ



細密画

ジオラマ

※屋島山上拠点施設
では165°で展開
予定

(6) トイレ・授乳室等

利用者等にやさしい施設を目指し、施設中央に多目的トイレ、エレベーター及び授乳室を設置します。

6 概算工事費

概算工事費は、実施設計、建設工事、設備工事、外構工事、排水工事及び展示制作等を併せ、約12億円となる見込みです。具体的な施設整備内容、仕様等については、実施設計段階で精査するとともに、高松市ファシリティマネジメント推進基本方針を踏まえ、当初の整備コストだけでなく、メンテナンス等にも配慮した維持管理コストの低減に努めます。

なお、財源については、国庫補助制度や地方交付税措置のある起債制度の活用を想定しています。

～財源内容（案）【概算】～

事業費	財源内訳	
	景観まちづくり刷新支援事業補助金を利用する場合	社会資本整備総合交付金を利用する場合
12億円	国庫補助 6億円 (補助率50%)	国庫補助 4億8,000万円 (補助率40%)
	公共事業等債 5億4,000万円 (充当率90% 交付税措置20%)	公共事業等債 6億4,800万円 (充当率90% 交付税措置20%)
	一般財源 6,000万円	一般財源 7,200万円

7 整備スケジュール（案）

市議会の御意見も伺いながら、平成29年度中に実施設計に着手し、平成31年度中の完成を目指します。